

対象期間中に頭頸部がんの治療を受けた患者さんへ 【過去の治療に関するカルテデータの臨床研究への使用許可のお願い】

メディポリス国際陽子線治療センターでは「頭頸部がんの陽子線治療に伴う口腔粘膜炎に対する半夏瀉心湯の効果についての研究 ～ポラプレジンク・アルギン酸ナトリウム懸濁液との比較～」という臨床研究を行っております。この研究は、陽子線が口腔内に当たることによって生じる口腔粘膜炎（口内炎）に対して、2 種類の薬剤の治療効果を比較し（一つは漢方薬の「半夏瀉心湯」、もう一つは従来から使われている「ポラプレジンク・アルギン酸ナトリウム懸濁液」）、より有効性の高い薬物療法や負担の少ない口腔ケアの手法を見出すことを目的としています。そのために患者さんのカルテデータなどを使用させていただきます。

○ 研究期間

2025 年 5 月 29 日（研究実施許可日） ～ 2029 年 3 月 31 日まで

○ 研究機関および施設長

メディポリス国際陽子線治療センター センター長 荻野 尚

○ 研究責任者

薬剤科 持留 隆伸

○ 臨床研究対象者

下記期間中に陽子線治療を受けた頭頸部がんの患者さんです。

2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 5 月 29 日まで（研究実施許可日）

○ 利用する情報

患者さんのカルテデータ、口腔粘膜炎の重症度、患者さんが感じる口腔内の痛みの程度、体重、血液検査値のデータ、食事の形態に関する情報、画像データ、治療計画データ

○ 個人情報の取扱い

使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては研究責任者が厳重に管理します。臨床研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

メディポリス国際陽子線治療センター

TEL：0993-23-5188(代) FAX：0993-24-3450(代)

この臨床研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

